



東京都豊島区と 災害相互応援協定を結ぶ

常陸大宮市と東京都豊島区が「非常災害時相互応援協定」の締結をするため、5月12日、豊島区池袋にあるサインシティプリンスホテルにおいて、調印式が行われました。

調印式には、当市から矢数市長をはじめ、内田助役、大瀧参与や幡山市議会議員等が、豊島区からは高野区長ほか助役、区議会代表等、それぞれ関係者が出席して、豊島区総務部防災課長が災害時相互応援協定書を朗読したあと、矢数市長と高野区長が署名調印を行いました。

協定書では、豊島区及び常陸大宮市は、いずれかの自治体の地域において大規模な災害が発生し、被災した自治体独自では十分に被災者の救援等の応急処置が実施できない場合に、被災し

た自治体の要請により、もう一方の自治体が協力・応援を行い、被災した自治体が、応急対策や復旧対策を円滑に遂行できるようにする規定が定められているほか、応援の手続きや物資の輸送、経費の負担の方法、地域防災計画をはじめ災害に関する資料・情報の交換を行うなどの内容が定められています。

今回の協定は、旧美和村が豊島区と10年来の交流をしており、町村合併前、災害相互協定を締結したことから常陸大宮市が引き継ぐ形で行われたものです。

今後は、常陸大宮市の自然豊かな環境を活かし、豊島区と文化・教育・産業の面でも地域交流が続けられて行くこととなります。

氏名	電話番号
野上 義明 (東野)	53-3817
根本 盛文 (山方)	57-2549
小室 澄江 (下檜沢)	58-3237
長山 孝 (上小瀬)	56-3255
檜山 一郎 (野口)	55-2023

◎行政相談委員に関する問い合わせ先
 総務省茨城行政評価事務所行政相談課
 ☎029-221-3347
 常陸大宮市総務部総務課 ☎52-1111内線312

知 市ってニュース!

このコーナーでは、常陸大宮市のさまざまな出来事や話題を紹介いたします。
 皆さんからの身近な情報をお待ちしています。
 どうぞお気軽に情報をお寄せください。

★情報政策課広報統計係
 ☎ 52-1111 (内線383)
 ☎ 53-6010
 e-mail
 jousei@city.hitachiomiya.lg.jp



食改善推進協議会が発足

4月20日、常陸大宮市食生活改善推進員連絡協議会の結成総会が西部総合体育館で開催されました。

結成まで8回の会長等会議を開き、これからの活動について意見を交わしました。今後は、推進員314人がそれぞれの地域で、自らの健康と住民の健康づくりのためにボランティア活動を続けていきます。

健康の基本は、正しい食習慣・バランスのとれた食事からなる毎日の食生活です。みなさんの身近にいる食生活改善推進員（ヘルスマイト）とともに努めていきましょう。



行政相談委員の 皆さんです

平成17年4月1日、次の5人の方が総務大臣から行政相談委員として委嘱されました（順不同・敬称略）。

行政相談委員は、皆さんの相談相手として、行政サービスに関する苦情、行政の仕組みや手続きに関する相談などを受け付け、その解決のための助言や関係機関に対する通知等の仕事を行う方々です。

毎日の暮らしの中で、困っていること、悩んでいることなどございましたら、お気軽にご相談ください。相談は、無料で秘密は厳守されます。

小学校で交通安全教室

4月22日、緒川地域の2つの小学校において、全児童を対象にした交通安全教室が大宮警察署員や県警察本部交通巡視員の指導で実施されました。

小瀬小学校では、安全な道路横断の仕方（1〜3年生）、安全な自転車の乗り方（4〜6年生）について、実技を通して学習しました。教室の最後には、ダミー人形による衝突実験を行い、見学した児童は改めて交通事故の恐ろしさを体験し、交通事故から身を守ることを再認識することができました。

また、八里小学校で



は、安全な道路歩行や横断の仕方（1、2年生）、安全な自転車の乗り方（3、6年生）について、丁寧な指導を受けました。八里小学校の交通安全教室は、実際の道路を使用し実施され、児童たちは緊張した雰囲気でも、十分に効果のある学習ができました。

美和温泉「ささの湯」 入館者30万人達成！



5月4日、美和温泉「ささの湯」が平成15年4月24日のリニューアルオープン以来、入館者30万人を達成しました。

「ささの湯」は低料金と温泉質が評判で、特にダイエット・リフレッシュ効果のある流水浴が人気です。

幸運な30万人目の入館者は、八郷町の会社員森川公雄さん。森川さんには「ささの湯」から、無料入浴券や食事券、地元特産の野菜などが贈られました。

赤ちゃん誕生を祝って 記念植樹



5月14日、鷲子の国有林に設けられた専用育樹地にヒノキが植えられました。これは育児を中心にサポートするピジョン株式会社（本社：東京）が、育児と育樹は相通じるものであるという考え方に基つき、旧美和村や茨城森林管理署等の協力を得て、毎年実施しているもので、今年で19回目。赤ちゃん誕生記念育樹キャンペーンとして、全国約12,000通の応募者の中から選ばれた3,500人の赤ちゃん分の記念樹を植え、植樹地内のログハウス休憩所に赤ちゃんの名前を明記したパネルが掲示されました。

また、この日関東在住の当選者の中から招待された100組の家族が、植樹式に参加し、丁寧に苗木を植えました。

「大宮町国際交流協会」から「常陸大宮市国際交流協会」へ



▲ 交流の集い
(昨年10月2日：大洗サンビーチ)

これまで大宮地域で活動していた大宮町国際交流協会は、その範囲を市内全域に広げ「常陸大宮市国際交流協会」となりました。

協会は、国際交流に関心のある高校生以上の会員、または法人会員で組織されています（会員は随時募集しています）。



▲ ふれあい広場に参加

○入会等詳しい問い合わせは…
常陸大宮市国際交流協会事務局まで
(市役所3階企画課内)

☎52-1111 内線324

活動範囲の拡大により、今までの外国人との交流事業やホームステイの受け入れ、広報紙の発行などのほか、さらに多くの国際交流にちなんだ事業を計画していきたいと考えています。応援よろしくお願いします。